

Rotary
District 2620

よいことの
ために
手をとりあおう

UNITE
FOR
GOOD

2025-26 年度 RI メッセージ
国際ロータリー会長
フランチェスコ・アレツツォ氏

Weekly Bulletin

藤枝南ロータリークラブ 会報



例 会：毎週金曜日
会 場：小杉苑 藤枝市青木 2-35-30
T E L：054-641-3321

事務局：藤枝商工会議所内
T E L：054-646-3919 F A X：054-643-2000
E-mail：jimukyoku@fujieda-south-rotary.jp

2025-26 年度

会長：鈴木寿幸 副会長：桑原 茂 幹事：加藤智之 副幹事：杉浦 聡

例 会 第 1607 回 通常例会/小杉苑

ソング：それこそロータリー、幸せなら手をたたこう ソングリーダー：増田陽子君

■ 会 長 挨 拶

鈴木寿幸君



皆さんこんにちは、本日も藤枝南ロータリークラブの例会に出席いただきありがとうございます。本日は、静岡第 4 グループの杉本昭ガバナー補佐、青島 IM 実行委員長、倉嶋ガバナー補佐事務局様の来訪ということで、朝から緊張をしています。

先週は、8 月 1 日（金）に第 4 グループの第 4 回目の会長幹事会が、磐田で開催されました。少し時間に余裕がありましたので磐田駅周辺を散策しました。駅舎は、藤枝駅と同じように南北通路があり、とても清潔感のある駅舎でした。

磐田駅の南口には、日本の近代郵便の父。「前島密」の案内板がありました。現在の新潟県上越市の生まれで、13 歳で江戸に出て、医学・蘭学を学びながら西洋砲術や航海術を学び、様々な藩で職を歴任し、幕臣前島家の養子となり、前島来輔（らいすけ）を名乗り、今から 160 年前の「大政奉還」後に駿河藩公用人となり、1869 年（明治 2 年）遠州中泉奉行となりました。

前島の職務は、江戸から無禄で移住した旧幕臣の世話役でした。彼らに桑の栽培方法や養蚕の方

法を教えたり、子弟の教育に力を注ぎました。在職年数は、わずか 8 ヶ月でした。

前島の業績のひとつに中泉奉行所管内約 200 の寺院に救済院の設置を要請し、中泉村泉蔵寺を仮の救済院として、運営も経費も寺院の手でおこなわれ、経営が困難な時もあったが、青山宙平（ちゅうへい）らの尽力もあり、明治 20 年まで存続し、このころに「前島密」と名乗るようになったといわれています。

磐田を離れた後、前島は明治政府に仕え、日本の近代化に大きな貢献を残したと書かれておりました。

磐田市と日本近代郵便の父と称される前島密氏の関係を知ることができとても新鮮な気持ちになりました。「旅行」ではなく、「旅」は、予定も決まっていないので、ハプニングや予期せぬ出来事や偶然の出会いを楽しむことができます。

磐田での会長幹事会は、私にとって特別な「旅」となりました。是非皆さん、旅行ではなく、「旅」を楽しんでみてはいかがでしょうか？

本日の例会が、新たな発見や気づきの場になることを願っております。

本日もどうぞよろしくお願いいたします。以上で会長報告を終わります。

■ ビジター

国際ロータリー第 2620 地区

杉本 昭 ガバナー補佐

青島青久 IM 実行委員長

倉嶋信康 ガバナー補佐事務局

清水北 RC

中野由香様

出席報告

森下傑君

本日のホームクラブ 出席者	前回の補正出席者
45/48 93.75%	43/47 91.48%

(1)欠席者（事前連絡とメイクアップをどうぞ）

○伊藤彰君○川口君○中山君

(1)メイクアップ者

飯田敏之君(島田) 望月誠君(地区)

食事準備数	食事提供数	残	累計残
52	51	1	3

パーフェクト例会数：😊😊

欠席連絡は、当日朝10時前までにお願いします

スマイルBOX

森下傑君

- ・国際ロータリー第 2620 地区静岡第 4 グループ
杉本昭ガバナー補佐、青島 IM 実行委員長、
倉嶋事務局様 本日は、ご来訪頂きありがと
うございます。皆様のご来訪に感謝して、
スマイルさせていただきます。2ヶ月後、焼津
文化会館での IM 楽しみにしております。

鈴木寿幸君

- ・杉本ガバナー補佐ようこそおいでくださいま
した。今日はよろしく願います。

若林秀典君

- ・私と妻の誕生祝いありがとうございました。

早川清人君

- ・誕生日プレゼントありがとうございました。

森下傑君

スマイル累計額 300,602円



ガバナー補佐公式訪問



ガバナー補佐 杉本 昭様

藤枝南ロータリークラブの皆さん、こんにちは。
皆さんもご承知のように、ロータリーの今年度は
国際ロータリーの会長エレクトがその任期スタ
ートの直前に辞任するという異例の幕開けとも
いえることから始まりました。稲葉年度最初のガ
バナー月信への挨拶文を提出するよう言われて
いた私はその文中に、ガバナーがご苦労されるや
もしれない、という趣旨の言葉を挟んだのですが、
稲葉ガバナーの答えは明快でした。

いささか戸惑うかもしれないが、さしてたじ
ろぐことなかれ。

ロータリーの目的も課題も私たちのすべき
活動も、微動だにしない。

寧ろ今こそ「手を取りあう」ことで絆を深め
るチャンスと捉え、

率先して手を出しましょう。～ The First to
Act・Rotarians ～(ロータリアンから始めま
しょう)

というものでした。

この言葉が象徴しているように、ロータリーには
皆に共感されるべき「目的」「ビジョン」「奉仕理
念」「中核的価値観」等が普遍的概念として存在し
ています。そのうえで、社会課題の変化に対応す
る形で重要視された「DEI」等が加えられ、これ
らの概念に向き合う対象として「重点分野」が存
在し、環境の変化に応じて対象や向き合い方を調
整しています。最近、その活動がより効果的
であることを期待して「3-Year Goals」3年計画で
達成度を高める取り組みが行われており、ここに

「革新」「継続性」に「パートナーシップ」が加わりました。

さてここで少し、脱線した話に絡めて改めて自己紹介させていただきます。

冒頭、RI 会長の突然の辞任に触れましたが、私が出身クラブ焼津ロータリークラブの会長を務めたのが 2020～21 年でした。前年末に中国武漢で発生したコロナウィルスが翌年海を渡って瞬く間に世界を席卷、その年度はロータリーの会長を務めるための必須研修である PELS（当時は PETS）もリアルでの開催がかなわず、送られてきた DVD の視聴など、窮余の策の内容でした。そんな中での年度替わりに突然、当時の地区ガバナーが辞任するというハプニングが発生したのでした。そうしたことから、元来知己も少なくメイクアップを積極的にするわけでもないうえに、コロナ渦での会長幹事会もそこそこということから、どこの輩かと思われているかもしれず、少々時間を頂いて自己紹介したいと思います。

本題です。旧来、RI 会長テーマが示され、それは「会長のテーマ」だったのですが、これからは「RI 理事会」からのメッセージとなる、と聞かされておりましたので、このメッセージはそのまま引き継がれています。UNITE FOR GOOD = よいことのために手を取りあおう。

稲葉ガバナーはこれを受け、ロータリアンから始めましょう = The First to Act – Rotarians と。この二つの言葉の背景には、ロータリーの最大の財産は「会員」である、という考え方があります。そのために会員を増やし、研修で力をつけ、継続性を高めて効果を出そうとしています。

さて、貴クラブ鈴木会長は「得手に高く帆を上げて」さあ前に進もう、と呼び掛けておられます。個性を大切にされ、機を見て一気に高みを目指す、それはまさに “Enjoy Rotary”。皆様の取り組みに敬意を表し、エールを送ってご挨拶とさせていただきます。

一年間、どうぞよろしくお願い致します。

例会プログラム

例会日	クラブ行事	摘要
8/22(金) 第 1608 回	夜間例会	小杉苑
8/29(金) 第 1609 回	ガバナー訪問	小杉苑
9/5(金) 第 1610 回	会員卓話	理事会
9/12(金) 第 1611 回	主管行事について	小杉苑

今週の一言

植田裕明君



「為せば成る、為さねば成らぬ、何事も、成らぬは人の為さぬなりけり」上杉鷹山公の名言です。

アメリカ歴代大統領でもっとも人気の高いジョン・F・ケネディは、日本のもっとも優れた政治家に鷹山公を挙げています。

彼の就任演説「国家があなたがたに何をしてくれるのかではなく、あなた方が国家に何ができるかを問うて欲しい」は、ニューフロンティアスピリットを象徴する名言として知られています。

一説には、この言葉、鷹山公の「三助の教え～自助・互助・公助～」に基づくとも言われています。

政治がきわめて不安定な今、鷹山公のような優れた改革者が現れてほしいと思います。



新会員
中野歩惟君



(担当/秋谷貴也君)